



日本バイ・デジタルオーリングテスト 医学会ニュース

No.16 2004年5月1日発行

〒830-0018 福岡県久留米市通町 111-18 北島ビル 302号

TEL:0942(38)4181 FAX:0942(37)4131 e-mail: info@bdort.net

URL: http://bdort.net

◎ 認定試験及びセミナー報告

大村恵昭先生が来日され、2004年4月10日（土）に久留米セミナー、4月11日（日）に認定試験が行われ、4名の先生が初段の試験を、2名の先生が昇段試験を受けられました。2004年4月17日（土）～18日（日）は、昭和大学歯科病院でアドバンス・セミナーが開催されました。



今回の認定試験では、イメージングする臓器は腎臓ではなく、肝臓でした。通常の顕微鏡のスライドを用いた場合や、豚のレバーを1g、5g、10gとか変えて肝臓をイメージングしてもらったりしました。最終的には、豚のレバーを1g持ってイメージングした時が、実際の臓器の大きさに近かったようです。

今回は、Telomereを用いたスクリーニングについて話されました。癌のスクリーニングのように、手に telomere を 110ng 持ち、両手、両足の大腿部、天突、臍をスクリーニングして、telomere が 100ng 以下の時は、

癌を疑い、Integrin $\alpha_5\beta_1$: 60ng を用いたポイントレーザーによるスクリーニングと

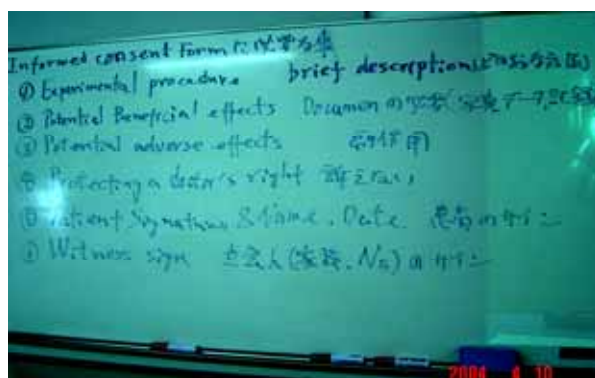
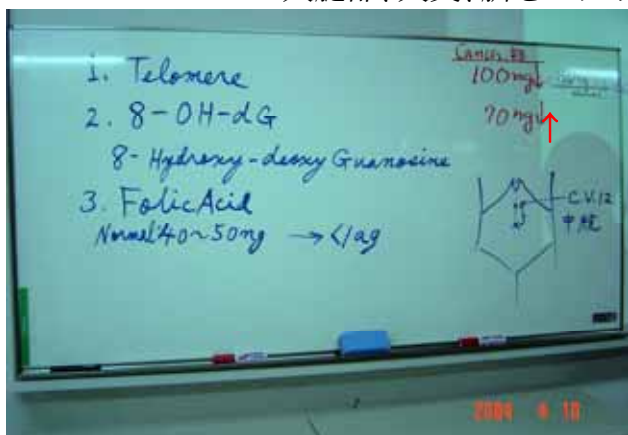
X,Y-axis scanning による異常部位の局在を行うということでした。東京セミナーでは、参加者の右手のみにレーザーを当て、簡易的な telomere による screening を行われました。

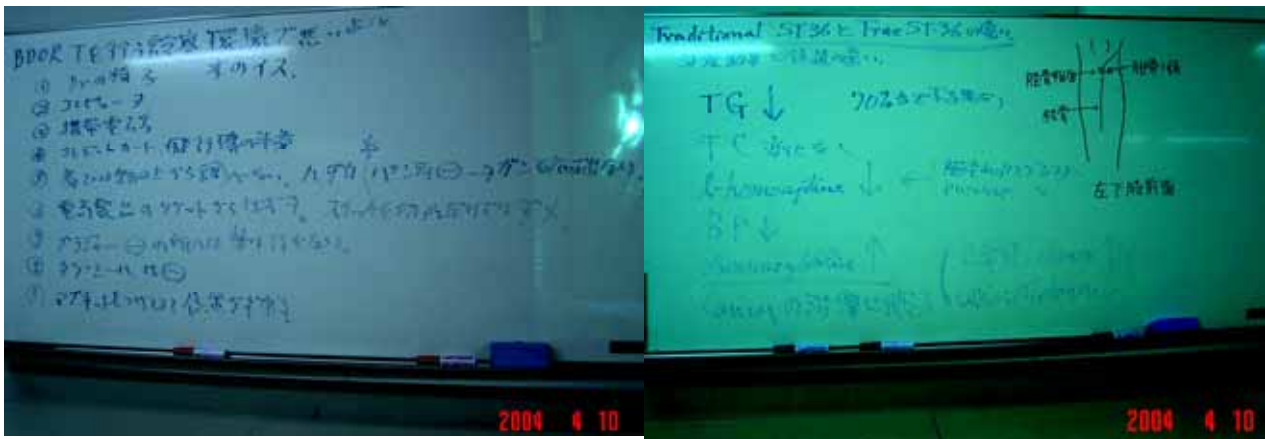
最近では、全ての症例で 8-OH-dG

(8-hydroxy-deoxyGuanosine) という遺伝子の mutation による異常の程度を測定するマーカーと Folic Acid (葉酸) を測定するという話をされました。

8-OH-dG については、70ng 以上の時は異常。80ng 以上の時は、癌を疑う。正常値は 3ng 以下（若い人）、5ng 以下（老人）

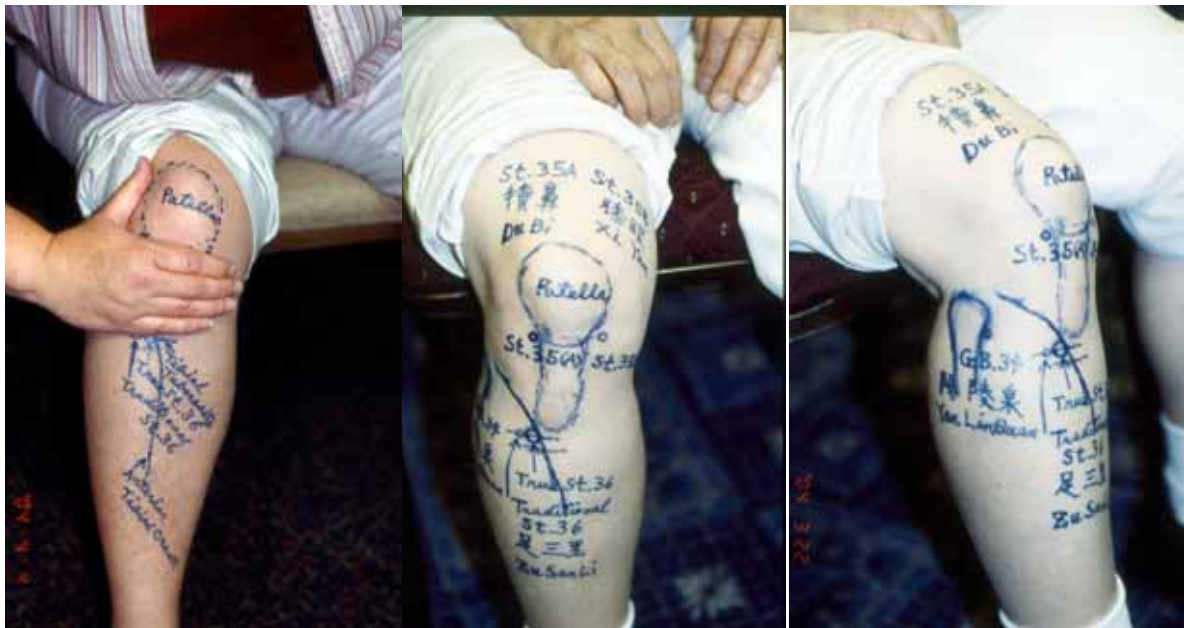
変異を起こした遺伝子を正常にもどす役割をするのが、Folic Acid (葉酸)。正常値は 40ng～50ng。癌の周辺では 1ag～10ag 以下に低下している。True ST.36 の刺激で Folic Acid は正常値に近づくが、体内の葉酸の絶対量が少ないと、癌のパラメーターを 1yg 以下にしても、なかなか難しい。Vitamin B12 は Folic Acid の役割を補助する働きをする等語られ、デモンストレーションが行われました。今回から、こういった内容も、筆記試験で質問されるようになりました。





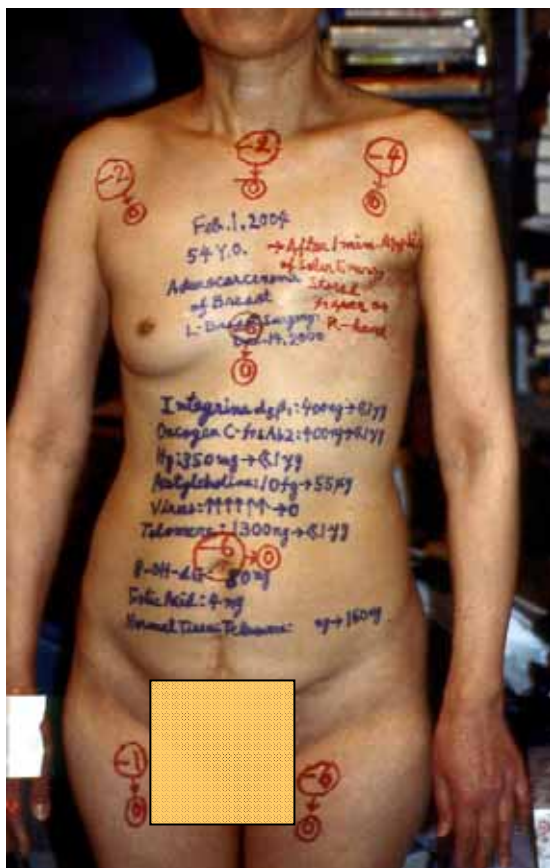
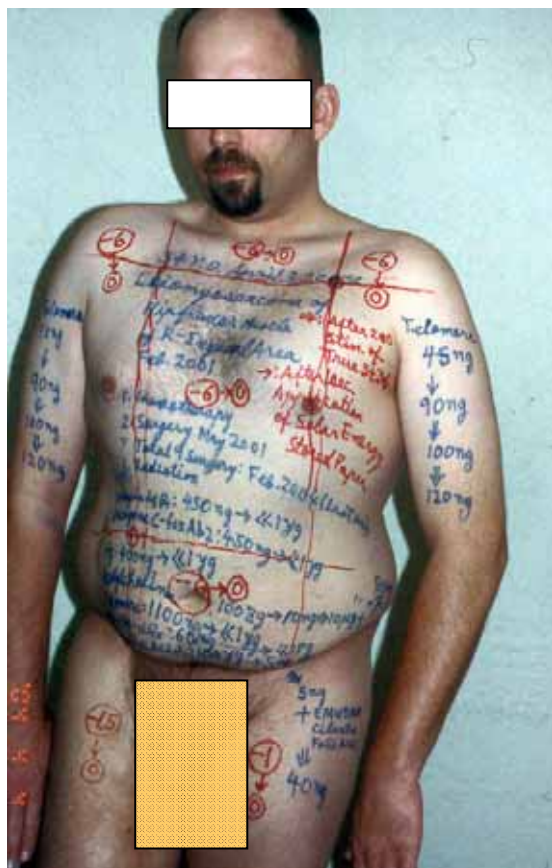
鍼灸部門では traditional ST.36 と true ST.36 の違い、true LI.4 や true LI.11 の正しい位置の
 見つけ方等が問われます。

true ST.36 の位置の見つけ方



Traditional LI.11 (曲池) と true
 LI.11 の位置の違い

True ST.36 は皮内鍼をして、薬を飲むたびに、200 回刺激すると良いとのことでした。



True ST.36 の刺激や、最近大村恵昭先生が発明し、治療効果を上げている solar energy stored paper を当てた時のパラメーターの変化を示した写真です。写真では、30秒から1分間当てていますが、最近では、数秒当てるだけで効果があるとのこと。気功紙のようにプラスとマイナスの面があり、病巣に数秒当てた後は、紙がマイナスになり、再利用できません。かなり即効性があるようですが、大村恵昭先生が patent 申請中のため、具体的に、このエネルギー紙を、どうやって作成するかについては公開できないとのことでした。1日も早く、できれば8月の国際学会の時にでも、協会会員に公開していただけるように期待しています。

◎役員会・認定医会議決定事項の報告

- ①今回の国際シンポジウムの大会会長は、前田華朗先生、大会副会長は大頭仁先生、大会実行委員長は加藤紘一先生となりましたので、先生方を支援して、大会が成功するように、御協力を御願い致します。
- ②今年の国際シンポジウム（8月6日～8日）の中で、8月7日に市民公開講座が開催さ

れます。今回は、ORT 友の会会員に限定して、身を守るためのオーリングテストのやり方を教える。市民公開講座の時間は3時間半から4時間。講演が1時間半くらい。デモンストレーションが1時間半から2時間くらい。会員の先生の発表と、治った患者さんの体験談（7分くらい）及び大村恵昭先生の講演があります。一般市民ではなく、友の会会員に限定して教えるため、当日、友の会会員に、オーリングテストを自分の身を守るためだけに運用し、人に教えない等の項目に同意してもらい、入会してもらう。

ORT 友の会会員の参加費が¥2000 として、一般市民は¥3000 として差別化する。

③ BSE 研究の第一人者プリスナー博士に渉外して、来てもらえば、シンポジウムを企画する。

④ 国際会議は、会員以外の一般の人でも参加可能で、会員の参加費が4万円とすると5万円の参加費（但し、オブザーバーとしての参加で、会議中に質問はできない）で参加可能とする。一般市民や患者さんも参加可能ですので、先生方に動員してもらう。

⑤ORT 友の会の会員を増やすことに協力してもらい、少しずつ集まった時点で、入会申込書を送ってもらう。

※ 国際シンポジウム及び市民公開講座の参加申込書及び、ポスター等は近日中に郵送しますので、今しばらくお待ち下さい。

※ 国際シンポジウムへの抄録の締め切りは5月17日ですので、奮って、抄録を御提出下さい。